



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 サンヨーホームズ株式会社
 コード番号 1420 URL <https://www.sanyohomes.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 久志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 福井 江治 TEL 06-6578-3403
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	16,235	△31.7	△1,451	—	△1,467	—	△1,029	—
2020年3月期第2四半期	23,782	16.4	143	—	109	—	34	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △1,026百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 27百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△95.96	—
2020年3月期第2四半期	2.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	62,464	15,212	24.3	1,414.16
2020年3月期	57,896	16,498	28.5	1,537.65

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 15,199百万円 2020年3月期 16,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,600	5.8	900	118.1	750	80.7	500	39.2	46.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	12,620,000株	2020年3月期	12,620,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,872,113株	2020年3月期	1,898,853株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	10,728,536株	2020年3月期2Q	12,322,552株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式（2021年3月期2Q 262,372株、2020年3月期 289,150株）が含まれております。また、役員向け株式給付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2021年3月期2Q 281,750株、2020年3月期2Q 297,445株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、4月に発出された新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言は5月に解除され、政府による各種支援政策等もあり、国内の経済活動は徐々に再開され回復基調にありますが、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響は長期化が見込まれ、引き続き不透明な状況が続いております。

住宅業界におきましては、緊急事態宣言解除後は回復傾向にありますが、企業収益の悪化による個人消費への影響等、今後の住宅需要についても不透明な状況です。

このような状況の中、従来型の展示場やモデルルーム等での営業活動が制約され、引き続きwebや電話等による営業活動にも取組むとともに、展示場そのものの在り方を見直し、統廃合を進めると同時に営業手法の見直しも進めております。また、財務面においては、資金調達を強化し、十分な流動性を確保することとしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績については、売上高16,235百万円(前年同期比31.7%減)、営業損失1,451百万円(前年同期比1,595百万円の悪化)、経常損失1,467百万円(前年同期比1,577百万円の悪化)、親会社株主に帰属する四半期純損失1,029百万円(前年同期比1,064百万円の悪化)となりました。しかしながら、受注高24,784百万円(前年同期比12.4%増)、受注残高35,371百万円(前年同期比15.2%増)と前年同期を上回りました。

なお当社グループの業績は、住宅事業およびマンション事業において、引渡し時期を顧客の要望に対応していることや、マンション等の竣工引渡し時期の影響により、売上の計上時期が第2四半期と第4四半期に集中するといった季節の変動があり、当期においては、第2四半期に集中することなく、第4四半期に集中する見込となっております。

(セグメント別の概況)

戸建住宅におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に対応した商品として、自宅でも働きやすいSOHO空間を備えた「ファミリーSOHO」を7月より発売開始するとともに、10月より発売開始した「防災」と「日常」を両立させた多目的に利用できる地下室を備えた商品「MultiShelter(マルチシェルター)」の販売準備を進めてまいりました。

賃貸・福祉住宅におきましては、既存の賃貸住宅や福祉施設のみならず、工場、倉庫等大型施設へと事業領域を広げており、事業者との連携、所有者とのマッチング提案力の強化を図っております。

リフォームにおきましては、従来型の訪問による営業活動が制約をうけるなか、オンラインにて「安心塗装工事」や「断熱工事」のセミナーイベントを実施する等、新たな営業提案活動を行ない、受注拡大に努めております。

リニューアル流通(既存住宅流通)におきましては、「中古流通+リノベーション」という新たな住宅取得方法を促進するため、当社独自の不動産流通組織「サン住まいリング」を拡充させ、事業拡大に努めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の住宅事業の経営成績につきましては、売上高10,191百万円(前年同期比11.5%減)となりました。利益面では営業損失260百万円(前年同期比162百万円の悪化)となりました。

マンション事業におきましては、当第2四半期連結累計期間においても新規竣工物件はなく、完成在庫物件、今後竣工する物件の販売に注力いたしました。売上高については新規竣工売上物件がないため前年同期比61.5%と大きな減少となりましたが、受注高においては12,514百万円(前年同期比46.7%増)、受注残高24,277百万円(前年同期比44.6%増)と前年同期を大幅に上回りました。下期については、「THE SANMAISON白金台」(東京都港区・19戸)、「サンメゾン新金岡レジデンシャル」(大阪府堺市・250戸)等をはじめ10棟が新規竣工する予定です。また、200㎡超のプランを備えたプライベートレジデンス「THE SANMAISON白金台五丁目」(東京都港区・18戸)、シニア向け分譲マンション「サンミット大日」(大阪府守口市・159戸)等、来期竣工物件の施工、着工に努めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間のマンション事業の経営成績につきましては、売上高4,137百万円(前年同期比61.5%減)となり、営業損失723百万円(前年同期比1,528百万円の悪化)となりました。

ライフサポート事業におきましては、マンション管理、介護・保育施設運営、寄り添いロボットの開発・販売等の生活支援サービスを担っております。

フロンティア事業は、主として太陽光、蓄電池等のエコ・エネルギー設備や軽量鉄骨技術を生かした鉄骨構造躯体や軽量鉄骨倉庫の販売等を担っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間のその他については、保育収入の増加や寄り添いロボットの新規導入等により売上高1,906百万円(前年同期比24.2%増)、営業損失58百万円(前年同期比43百万円の改善)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産額は62,464百万円となり、前連結会計年度末と比較し4,568百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金2,444百万円、仕掛販売用不動産4,831百万円の増加、販売用不動産2,531百万円の減少等によるものです。

負債総額は47,252百万円となり、前連結会計年度末と比較し5,854百万円の増加となりました。主な要因は、長短借入金9,270百万円、前受金596百万円の増加、支払手形・工事未払金等3,571百万円の減少等によるものです。

純資産額は15,212百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,286百万円の減少となりました。主な要因は、利益剰余金1,304百万円の減少等によるものです。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローが6,478百万円の減少、投資活動によるキャッシュ・フローが72百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローが8,994百万円の増加となり、当第2四半期連結会計期間末には8,765百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは6,478百万円の減少(前年同期は5,823百万円の減少)となりました。その主な内訳は税金等調整前四半期純損失1,467百万円、たな卸資産の増加2,458百万円、仕入債務の減少3,571百万円、売上債権の減少822百万円、前受金の増加596百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは72百万円の減少(前年同期は115百万円の増加)となりました。その主な内訳は、有形固定資産の取得による支出26百万円、差入保証金(純額)27百万円の増加等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは8,994百万円の増加(前年同期は5,934百万円の増加)となりました。その主な内訳は、短期借入金の増加7,920百万円(純額)、長期借入金の増加1,350百万円(純額)、配当金の支払による支出275百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想並びに期末配当予想につきまして、2020年5月15日に公表いたしました「2020年3月期決算短信」及び2020年7月31日に公表いたしました「2021年3月期第1四半期決算短信」において、新型コロナウイルス感染症の影響により合理的算定が困難として未定としておりましたが、直近の業績動向や現時点において入手可能な情報に基づき策定いたしましたので、公表いたします。詳細につきましては、本日別途開示いたしました「通期連結業績予想並びに期末配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

今後の業績推移に応じて、修正が必要と判断した場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,220,883	10,665,248
受取手形・完成工事未収入金等	2,734,677	1,912,353
有価証券	49,919	—
販売用不動産	9,695,177	7,163,383
仕掛販売用不動産	30,078,067	34,909,482
未成工事支出金	69,204	204,527
その他のたな卸資産	142,777	165,925
前払費用	637,792	722,531
その他	1,743,194	1,680,064
貸倒引当金	△508	△42
流動資産合計	53,371,186	57,423,475
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,395,939	1,357,248
土地	747,755	747,755
その他(純額)	39,416	63,120
有形固定資産合計	2,183,111	2,168,123
無形固定資産		
ソフトウェア	21,307	35,343
その他	64,432	57,832
無形固定資産合計	85,739	93,175
投資その他の資産		
投資有価証券	110,197	110,540
繰延税金資産	753,738	1,204,566
その他	1,398,204	1,469,897
貸倒引当金	△5,967	△5,077
投資その他の資産合計	2,256,174	2,779,926
固定資産合計	4,525,025	5,041,225
資産合計	57,896,211	62,464,701

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,989,125	3,417,824
短期借入金	12,390,000	20,310,000
1年内返済予定の長期借入金	8,690,000	10,314,000
未払費用	621,364	371,172
未払法人税等	199,099	41,273
未成工事受入金	1,026,992	1,236,262
前受金	1,009,590	1,606,276
賞与引当金	263,714	116,489
完成工事補償引当金	71,700	69,000
その他	833,050	790,645
流動負債合計	32,094,637	38,272,944
固定負債		
長期借入金	7,364,000	7,090,000
繰延税金負債	80,482	76,027
役員株式給付引当金	122,958	122,465
役員退職慰労引当金	11,158	12,433
退職給付に係る負債	1,311,408	1,280,396
その他	413,173	398,173
固定負債合計	9,303,181	8,979,496
負債合計	41,397,818	47,252,440
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,945,162	5,945,162
資本剰余金	3,611,796	3,611,796
利益剰余金	8,231,921	6,927,133
自己株式	△1,297,313	△1,282,139
株主資本合計	16,491,567	15,201,952
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△6,204	△2,722
その他の包括利益累計額合計	△6,204	△2,722
新株予約権	13,030	13,030
純資産合計	16,498,392	15,212,260
負債純資産合計	57,896,211	62,464,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	23,782,766	16,235,430
売上原価	19,047,107	13,603,663
売上総利益	4,735,659	2,631,767
販売費及び一般管理費	4,591,979	4,083,739
営業利益又は営業損失(△)	143,679	△1,451,972
営業外収益		
受取利息	3,278	1,180
違約金収入	5,390	22,210
助成金収入	32,775	39,830
その他	28,382	30,078
営業外収益合計	69,826	93,300
営業外費用		
支払利息	77,142	88,663
持分法による投資損失	18,633	—
その他	7,804	20,544
営業外費用合計	103,579	109,207
経常利益又は経常損失(△)	109,925	△1,467,879
特別利益		
有形固定資産売却益	608	—
特別利益合計	608	—
特別損失		
有形固定資産除却損	11,874	—
特別損失合計	11,874	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	98,659	△1,467,879
法人税、住民税及び事業税	84,115	18,466
法人税等調整額	△20,440	△456,816
法人税等合計	63,674	△438,349
四半期純利益又は四半期純損失(△)	34,985	△1,029,530
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	34,985	△1,029,530

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	34,985	△1,029,530
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△12,713	—
退職給付に係る調整額	5,183	3,482
その他の包括利益合計	△7,529	3,482
四半期包括利益	27,456	△1,026,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,456	△1,026,048
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	98,659	△1,467,879
減価償却費	53,445	55,901
賞与引当金の増減額(△は減少)	△51,914	△147,225
受取利息	△3,278	△1,180
支払利息	77,142	88,663
売上債権の増減額(△は増加)	△177,576	822,323
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,243,769	△2,458,092
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,020,599	△3,571,300
未成工事受入金の増減額(△は減少)	994,221	209,269
前受金の増減額(△は減少)	△1,091,958	596,686
その他	△876,287	△376,173
小計	△5,241,914	△6,249,007
利息の受取額	534	754
利息の支払額	△77,436	△88,724
法人税等の支払額	△504,804	△141,409
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,823,621	△6,478,386
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△700,000	△700,000
定期預金の払戻による収入	900,000	700,000
その他	△84,995	△72,103
投資活動によるキャッシュ・フロー	115,004	△72,103
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	1,150,000	7,920,000
長期借入れによる収入	6,640,000	3,100,000
長期借入金の返済による支出	△1,540,000	△1,750,000
配当金の支払額	△315,313	△275,123
その他	—	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,934,686	8,994,854
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	226,069	2,444,364
現金及び現金同等物の期首残高	5,795,464	6,320,883
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,021,534	8,765,248

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	住宅事業	マンション 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,511,350	10,735,879	22,247,230	1,535,536	23,782,766	—	23,782,766
セグメント間の内部売上 高又は振替高	59,581	1,080	60,661	36,976	97,638	△97,638	—
計	11,570,932	10,736,959	22,307,892	1,572,513	23,880,405	△97,638	23,782,766
セグメント利益又は損失 (△)	△98,171	805,884	707,712	△102,426	605,286	△461,606	143,679

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、ライフサポートに関連する業務等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△461,606千円の内容は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	住宅事業	マンション 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,191,451	4,137,410	14,328,862	1,906,568	16,235,430	—	16,235,430
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,066	1,080	3,146	38,779	41,926	△41,926	—
計	10,193,518	4,138,490	14,332,009	1,945,347	16,277,357	△41,926	16,235,430
セグメント損失(△)	△260,825	△723,014	△983,840	△58,785	△1,042,625	△409,346	△1,451,972

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、ライフサポートに関連する業務等であります。

2. セグメント損失の調整額△409,346千円の内容は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

①受注状況

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
住宅事業	10,363,224	86.5	11,093,443	79.8
マンション事業	12,514,827	146.7	24,277,797	144.6
その他	1,906,568	124.2	—	—
合計	24,784,621	112.4	35,371,240	115.2

- (注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 「その他」は売上高と同額を受注高としており、受注残高はありません。

地域別受注高については、次のとおりであります。(単位:千円)

関東地方	中部地方	近畿地方	九州地方	合計
5,005,684	2,341,743	14,511,858	2,925,334	24,784,621

②販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(千円)	前年同期比(%)
住宅事業	10,191,451	88.5
マンション事業	4,137,410	38.5
その他	1,906,568	124.2
合計	16,235,430	68.3

- (注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

地域別販売高については、次のとおりであります。(単位:千円)

関東地方	中部地方	近畿地方	九州地方	合計
4,585,137	2,471,995	6,380,402	2,797,895	16,235,430